

# まちひとしごと

Vol. 13

エスワークス建築設計事務所  
代表 佐藤 裕さん



## まちを愛し、思いを受け継ぐ

「大 やりやすい町、住みたい町にするために自分ができることを精一杯やりたい」

父親の背中を見て育ち、建築士となった佐藤裕さんはそう熱く語ってくれた。

倶知安に生まれ、高校までの期間をこの町で過ごした。その後、大学進学などを経て勤めた建設会社では、個人の住宅からホテルや病院などの大規模な建設に携わり、建築士としての経験を積む中で、木材をふんだんに使うような住宅の設計・建築がしたいと思い、独立を考え始めた。そして、町内にエスワークス建築設計事務所を設立して10年目になる。

佐藤さんは、建築士としての仕事以外に、町の都市計画審議会会長や新幹線まちづくり検討委員会委員長の他、数々の団体の役員を務めている。それらの活動では、この町で暮らす人たちの住まいをはじめとする生活や倶知安の町並みなどさまざまな角度から町全体を見つめ、幅広くまちづくりに携わってきた。

また、自身が加入する町内会では会長を務め、平成26年からは倶知安町町内会連合会会長として、各町内会の活動を支援しながら多くの住民と親交を深めてきた。

「町内会連合会の活動の中で、住民の方の町に対する思いを耳にすることがありますが、それを住民目線で行政に届けることが私の役目だと思っています」

最近では、町内会に加入しない人が増えている一方で、近所での日々の声掛けや挨拶が町内会活動の原点となり、同じ町で暮らす住民同士の連帯感が生まれるという。

「町内会に加入することは、まちづくりに関わる良い機会です。住民の声を町内会連合会から町に要望し、協議した結果、事業化された例もあります。町内会活動をあまり難しく考えずに、より多くの人に参加してもらいたいですね」

倶知安をより良い町にしたいという思いから、日々多くのことに励む佐藤さんは、自身の活動についてこ

う話す。

「頼まれたら断れない性格で、何でも引き受けてしまうのですが、実際に携わってみるといろいろな活動が一つに繋がっていることを実感します。まちづくりについて、それぞれの団体がバラバラに活動しているように見えますが、同じ未来に向かって進んでいくことが必要なんだと感じています」

最近では、若い世代が町のために奮闘している姿を目にする機会が増えたという。

「彼らの活動を見ているとできる限りサポートしたいと思うし、私たちの思いを受け継いでくれる世代がもっと育ってくれたらいいと思います」

父親の思いを受け継いだ佐藤さんの息子さんたちもまた、父親の背中を追いかけ建築の道に進んだ。一人一人がこの町を愛し、その思いを受け継いでいくこと。それが私たちの明るい未来に繋がっていくのかもしれない。

※まちひとしごとは不定期連載です